

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月30日

上場会社名 株式会社 エージーピー

上場取引所 東

コード番号 9377 URL <http://www.agpgroup.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山口 栄一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 小澤 秀之

TEL 03-3747-1631

四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	2,400	0.8	139	7.9	133	13.0	74	11.6
25年3月期第1四半期	2,381	1.5	129	169.0	118	239.8	66	310.5

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 80百万円 (25.7%) 25年3月期第1四半期 64百万円 (267.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	5.33	—
25年3月期第1四半期	4.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	10,809	5,947	55.0
25年3月期	11,623	5,992	51.6

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 5,947百万円 25年3月期 5,992百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	9.00	9.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,727	2.5	788	△2.3	767	1.1	409	20.5	29.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	13,950,000 株	25年3月期	13,950,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	1,857 株	25年3月期	1,857 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	13,948,143 株	25年3月期1Q	13,948,143 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、着実に持ち直しており、先行きについても、輸出の持ち直しや各種の政策効果による企業収益の改善等により、景気回復に向かうことが期待されています。

航空業界は、円安の継続に伴い訪日旅客が増加するなかで、航空各社による路線の開設・増便が進み、また、運航を停止していたボーイング 787 型機の運航が再開されるなど、堅調に推移しています。

このような状況下における当社業績は、動力事業では、ほぼ前年同期並みの売り上げで推移しました。整備事業では、顧客の経費節減施策の継続等により若干の減収となりました。付帯事業では、フードカート販売が好調に推移し増収となりました。この結果、売上高合計は 24 億円と前年同期比 19 百万円 (0.8%) の増収となりました。営業費用につきましては、動力事業において減価償却費が減少したものの、各事業において原材料費等が増加したことにより、22 億 60 百万円と前年同期比 9 百万円 (0.4%) の増加となりました。

以上により、営業利益は 1 億 39 百万円と前年同期比 10 百万円 (7.9%) の増益、経常利益は 1 億 33 百万円と前年同期比 15 百万円 (13.0%) の増益、四半期純利益は 74 百万円と前年同期比 7 百万円 (11.6%) の増益となりました。

各セグメントの業績は次のとおりです。

① 動力事業

訪日旅客の増加等に伴う航空需要の拡大により、成田空港、関西空港における国際線向けの販売が増加したことに加え、保有機数が増加している本邦 LCC 向けの販売が伸びたものの、航空各社の経費節減への取り組みが進んだこと等により、羽田空港をはじめとした国内線において販売が減少し、売上高は 12 億 21 百万円とほぼ前年並みとなりました。

セグメント利益は、関西空港、羽田空港における減価償却費が減少したこと等により、1 億 71 百万円と前年同期比 36 百万円 (27.5%) の増益となりました。

② 整備事業

顧客の経費節減施策の継続による航空機整備施設関連の修繕・更新作業の減少、空港特殊設備関連の修繕・更新作業の出遅れ等により、売上高は 8 億 23 百万円と前年同期比 9 百万円 (1.2%) の減収となりました。

セグメント利益は、原材料費をはじめとした原価率が上昇したことにより、46 百万円と前年同期比 33 百万円 (41.8%) の減益となりました。

③ 付帯事業

フードカート販売が好調に推移したことにより、売上高は 3 億 55 百万円と前年同期比 29 百万円 (9.1%) の増収となりました。

セグメント利益は、86 百万円と前年同期比 11 百万円 (15.7%) の増益となりました。

(単位：百万円)

	売上高			セグメント利益		
	26 年 3 月期 第 1 四半期	25 年 3 月期 第 1 四半期	前年同期比 (%)	26 年 3 月期 第 1 四半期	25 年 3 月期 第 1 四半期	前年同期比 (%)
動力事業	1,221	1,222	99.9	171	134	127.5
整備事業	823	833	98.8	46	79	58.2
付帯事業	355	325	109.1	86	75	115.7
合 計	2,400	2,381	100.8	304	289	105.3
全社費用*				164	159	103.2
営業利益				139	129	107.9

*全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費です。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度（以下「前期」という）末比 6 億 67 百万円（11.8%）減少の 49 億 98 百万円となりました。これは、有価証券が 2 億円、商品及び製品が 87 百万円増加したものの、現金及び預金が 4 億 53 百万円、受取手形及び売掛金が 3 億 96 百万円減少したこと等によります。

固定資産は、前期末比 1 億 47 百万円（2.5%）減少の 58 億 10 百万円となりました。これは、主に有形固定資産が 1 億 37 百万円減少したこと等によります。

この結果、総資産は、前期末比 8 億 14 百万円（7.0%）減少して 108 億 9 百万円となりました。

(負債)

流動負債・固定負債は、前期末比 7 億 69 百万円（13.7%）減少の 48 億 62 百万円となりました。これは、営業未払金が 1 億 26 百万円、未払金が 2 億 61 百万円、未払法人税等が 1 億 83 百万円、流動負債・固定負債を合算した長期借入金が 1 億 27 百万円減少したこと等によります。

(純資産)

純資産合計は、前期末比 44 百万円（0.7%）減少の 59 億 47 百万円となりました。これは、当四半期純利益および剰余金の配当を加減算した結果、利益剰余金が 51 百万円減少したこと等によります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期業績見通しにつきましては、各事業の業績が想定範囲内であることから、現時点では期初の業績予想を変更していません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,362,752	1,909,368
受取手形及び売掛金	1,614,396	1,217,694
有価証券	891,354	1,091,489
商品及び製品	80,191	167,901
仕掛品	85,429	45,597
原材料及び貯蔵品	343,884	337,588
その他	289,179	230,371
貸倒引当金	△1,022	△1,022
流動資産合計	5,666,165	4,998,989
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,364,575	9,483,060
減価償却累計額	△7,303,430	△7,373,561
建物及び構築物(純額)	2,061,144	2,109,498
機械装置及び運搬具	7,941,440	7,989,578
減価償却累計額	△6,265,792	△6,259,508
機械装置及び運搬具(純額)	1,675,648	1,730,070
その他	481,794	483,251
減価償却累計額	△437,898	△440,810
その他(純額)	43,895	42,441
土地	110,608	110,608
リース資産	636,383	639,584
減価償却累計額	△374,369	△401,704
リース資産(純額)	262,013	237,879
建設仮勘定	640,608	425,851
有形固定資産合計	4,793,919	4,656,349
無形固定資産		
ソフトウェア	21,010	17,740
その他	15,575	15,095
無形固定資産合計	36,585	32,835
投資その他の資産		
投資有価証券	123,940	133,642
敷金及び保証金	221,051	221,675
その他	781,967	765,677
投資その他の資産合計	1,126,959	1,120,995
固定資産合計	5,957,464	5,810,181
資産合計	11,623,629	10,809,170

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	539,548	413,333
1年内返済予定の長期借入金	497,450	460,350
リース債務	118,921	119,013
未払法人税等	200,251	16,910
未払金	286,914	25,553
その他	539,815	500,329
流動負債合計	2,182,902	1,535,491
固定負債		
長期借入金	1,737,450	1,647,125
リース債務	170,960	144,531
退職給付引当金	1,507,561	1,498,378
資産除去債務	32,443	36,265
その他	210	210
固定負債合計	3,448,625	3,326,510
負債合計	5,631,527	4,862,001
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,038,750	2,038,750
資本剰余金	114,700	114,700
利益剰余金	3,840,920	3,789,743
自己株式	△630	△630
株主資本合計	5,993,739	5,942,562
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,638	4,606
その他の包括利益累計額合計	△1,638	4,606
純資産合計	5,992,101	5,947,168
負債純資産合計	11,623,629	10,809,170

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	2,381,290	2,400,647
売上原価	2,061,871	2,067,491
売上総利益	319,418	333,156
販売費及び一般管理費	189,816	193,342
営業利益	129,602	139,813
営業外収益		
受取利息	413	189
受取配当金	769	2,669
保険事務手数料	345	307
その他	146	997
営業外収益合計	1,675	4,163
営業外費用		
支払利息	12,523	9,544
その他	420	655
営業外費用合計	12,943	10,200
経常利益	118,333	133,776
特別損失		
固定資産除却損	1,773	2,788
特別損失合計	1,773	2,788
税金等調整前四半期純利益	116,559	130,988
法人税、住民税及び事業税	22,278	13,705
法人税等調整額	27,628	42,925
法人税等合計	49,906	56,631
少数株主損益調整前四半期純利益	66,653	74,356
四半期純利益	66,653	74,356

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	66,653	74,356
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,519	6,244
その他の包括利益合計	△2,519	6,244
四半期包括利益	64,133	80,600
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	64,133	80,600

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	動力事業	整備事業	付帯事業	合計
売上高				
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,222,236	833,671	325,383	2,381,290
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	1,371	1,371
計	1,222,236	833,671	326,755	2,382,662
セグメント利益	134,146	79,978	75,168	289,292

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額
及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	289,292
全社費用（注）	△159,690
四半期連結損益計算書の営業利益	129,602

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	動力事業	整備事業	付帯事業	合計
売上高				
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,221,545	823,970	355,132	2,400,647
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	1,613	1,613
計	1,221,545	823,970	356,746	2,402,261
セグメント利益	171,068	46,519	86,954	304,543

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	304,543
全社費用(注)	△164,729
四半期連結損益計算書の営業利益	139,813

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。